

# 青嶺 Seirei

文責 田中泰司

伊万里市立青嶺中学校

## 一年を折り返し、実り多き後半へ

四月から新しい年度になり、一年のちょうど半分が過ぎました。各学年とも仲間達とともに行事に取り組んだり、日々の授業を頑張ったりとそれぞれに大きく、たくましく大人へと成長しているようです。

実りの秋へ。これからは勉強もそのほかのことも、これまでの取り組みをベースとして、さらに積み重ね磨き上げて、より高みを目指す時期です。限界を自分達で設けることなく、何事も自分から、そして前向きに楽しめる良いですね。

学生時代を振り返ってみたら、大変なことやきついことを途中、衝突しながらも一緒に乗り越えて創り上げた仲間との思い出が一番心に残っています。ぶつかることを恐れすぎず、自分の主張をしてみてください。そして皆で納得するまでとことん考えていってください。きつとその経験が将来生きてくるでしょう。

## 「ちよっとだけ無理をする」

去る十月一日の日曜日にSAGAサンライズパーク陸上競技場でさがスポーツフェスタ（陸上）が行われました。私は五十代百メートルと四×百メートルリレーのメンバーとして参加しました。一週間前の練習中にアキレス腱を痛め炎症して

激しい痛みがありましたがお世話になっての方のテーパーングのおかげで出場にこぎつけました。予選は再び足を痛めないように走り、練習不足でなかなか動かせませんでした。痛みは思ったよりひどくならず、次のリレーに臨みました。五十代がスタートで、四十代、三十代、二十代とバトンを繋ぎます。痛みはありましたが何とか走り切りました。予選は4着となり、決勝進出は微妙でしたが、私が走ったBチームも山崎さんのAチームとともに伊万里は二チーム決勝に進みました。

## 人と人が支え合う

自分追い込むため「少し無理をする」ことの繰り返し。ケガと背中合わせかもしれません。しかし、努力の積み重ねの結果、自分が無理だ、と思っていた領域の結果が出たとき、それまで頑張ってきた自分を信頼できるようになりました。

今回の記事は、伊万里市立青嶺中学校の生徒が、自身の経験から得た学びや気づきを綴っています。読者の皆様にも、日々の生活や学習の中で、自分自身と向き合い、仲間と支え合いながら成長してほしいと思います。